

# 中央・執行両部分立

## 規約内容

執行委員長は委員長の指名

高等學校生徒準備委員會ではかねてから「洛陽高等學校生徒会規約」の完成を急いでいたが二期期末にははその大綱を決定し、中学校の生徒会との関係事項を除いてはすべての条項に關し檢討を終えており、高校の生徒会の発足は早ければ今月中に、遅くとも新学年のはじめには實現の見通しが濃くなつてきた。

## 生徒会近く發足

執行委員長は  
全生徒から直  
接選挙

この規  
約は大  
致師範  
学園（  
高小）  
が草  
案を作  
成し、  
二期  
末に學  
務委員  
会の審  
議を開  
けし三  
学期に  
入つて

正木先生の協力によつて急速に進  
展してほぼ完成を見るに至つたも  
ので、中学校との連絡に関する条  
項が決定すれば聯合開催に就いて  
役員、委員選挙があつて、いよいよ  
生徒会協定の段となりになる予定  
である。高校の生徒会の発足によ  
り中学校、高等学校の両生徒会が  
ウィットル学園の名の下に自主  
的な活動を協力して行うことにな  
り多大の成果が期待される。聯合  
に提出される草案の内容はおおよそ  
次の様なものである。

この会則中に注目されること  
は、中学校の生徒会則と異り、執行  
委員の位置が大きく向上して中央  
委員会と対等の立場に立つ様にな  
ることである。中学校の生徒会則  
の作成にあつたつても中央委員会と  
執行委員会の権限についてはかな  
り熱心に検討が行われ、中央委員  
会と執行委員会は対等の立場に立  
つべきだといふ意見と、中学校で  
は實際に生徒会を運営し得る人材  
が少ないから中央委員会に多くの権  
限をあたるべきだといふ意見が互  
對立し後者の意見が大論争の末可  
決されたことがあつた。然し高校  
の生徒会は理論的にも實際的にも  
前者の意見を採用する方が妥當な  
との結論に達し大体その線で進む  
ことになつた。つまり執行機関は  
中央委員会の附随機関ではなく全  
く独立した、中央委員会と対等の  
立場に立つ機関ということになつ

五年前のことでありました。いまだに、地を視別しました。天氣がすばら  
ま洛星の校舎が建つてゐるところに、まだ何にもなかつたところ、は  
つきりと覚えてゐませんが、二月、三月の或る日、五名のワイアト  
ール会員が、本部の北川から白梅町へまいりました。百姓さんは  
畑のあちろちろで働いておりました。ワイアートル会員達は自転  
車から降りて、現在中学校の校舎の前の庭になつてゐるところへは  
いりました。帽子をとつて頭を下  
けしはらくお祈りをしました。また将来洛星に於て教へて下さる先  
生や、勉強する生徒達のためにお祈りをするのでした。そしてあう  
すと建築し始めようとするこの土  
地を視別しました。天氣がすばら  
しかつたことをよく覚えておりまし  
た。私達も非常に喜んでおりまし  
た。私達は心が大きな希望にあふ  
れて、將來どんなふうにいゝにあつ  
ても、神様はきつと洛星をいつつも  
お守りになり、また本校で行われ  
る授業を成功させて下さることを  
深く願ひておりました。  
その後しばらくしてから、建築  
がはまつて、一九五一年のクリス  
マスの頃完成しましたが、その翌  
年の三月に、第二回の募集した牛  
徒が入学して洛星の授業がはまつ  
たのであります。

当時ホワイト神父様は洛星のこと  
について、大きな誇りと大きな

## 啓示

もつと他人を愛する  
心がほし

過去四ヶ年をふりかえつて――

校長 ヨゼフ・ナドウ

**啓 示**

もつと他人を愛する  
心がほしい

— 過去四ヶ年をふりかえつて —

校長 ヨゼフ・ナドウ

したりするのを見るたびに、深く できて来たように考えられます。に於てはもつと親切な雰囲気が目立ち、立つて存在していい響であります。残念なことですが、洛星においては、利己主義がたくさんあります。

感心してよくこんでおられました。然し私はよく考えて聞きますと、私様また皆さんのおかげで、洛星 特質として一つの大切なことがまだ欠けているのではないかと懸念して、それは「愛」すなわち他

希望に満ちたされておられたことを、たしつげがよいという洛星の特徵、人に対する愛は、得た雰囲気、私にはよく覚えております。当時の、がだんだんで、その結果毎年、ことです。「他人を己の如く愛せよ」とおつしやられたキリスト様、一年生（今の高校一年生）が、丁より生徒を募集することができ、それによつてますますよい特徴が、の精神にもとづいて、害の洛星

寧にお許ししたり、きれいに掃除

主張  
\*\*\*\*\*  
スポーツへの関心を

イタリアのコレチナ・ダンベツは、今更ここで示すまでもなく方ツツで開かれていた第七回冬季オリンピック大会は五日終つた。日本の猪谷千春選手がスキー回転競にさかのぼる。しかし真のスポーツとして発達したのは古代ギリシアで第二位に入賞して、日本は冬

季オリンピックに初めて日章旗を  
かかげた。

本校でも、先日より校内サツカ  
ー大会、ハンドボール大会が行な  
われ、又五日には私学駅伝大会に  
第二位に入賞した。このようにス  
ポーツが盛んであることは、非常  
に望ましいことである。

従来、本校においては、スポー  
ツは余り盛んでなく、又学校の方  
針もスポーツを重要視していない  
であつた。だがスポーツを重要なこと  
と見做すようになった。

ヤ、殊にアテネにおいてであつた  
これが、ローマ、中世、ルネッサ  
ンスを経て現代にいたつている。

我国においても古代より武芸は  
行なわれたが、現代いうスポーツ  
が輸入され、一般がこれに参加す  
るようになったのは明治以降であ  
る。以後スポーツの重要姓は次第  
に自覚され、戦後は殊にこの傾向  
が強く、大学においてもスポーツ  
は全學生に課せられている。そ  
でスポーツについて少し考えて

たわけである、従つて執行委員會の代表は中央委員會には鐵平權は待たずに單に説明や答弁の爲にのみ出席し、しかも實際の活動は執行委員會が行ふことになるのである。困の例をとれば中央委員會は立法機關たる国会、執行委員會は

單に執行委員會」という条項が明記されている。

第二点は執行委員長が全會員の直接選舉制をとつてゐることである。従つてこの地位をめぐつて汚濁な選挙戦も予想される。

以上の二点にすでに確定してゐるがさらに監査委員會の設置も一應とりあげられており、一方で執行委員はホームルームからの選出によらず、全生徒から選出されるべきであるとの意見もかなり強い。これに關してはその実現の可能性がかなり弱くなつてゐる。

また確定している事柄で餘則、機關以外の主な事項は中央委員會の承認を要し、中央委員會及び總會に對して責任を有する(第三

一位  
ホワイト  
神父帰国

駅伝入賞・記念祭など

## 今年度本校の 十大ニュース

(いよいよ本年最後の新聞となったので、一つ今まで一年間を通じてうものを生徒諸君の投票により決定しました。順位は別表の通りです)

一応見まわした所、ホワイト神父様の帶領は學校としても大きな功績であつたので、圧倒的な票を得て見事第一位、それから最近校内をにぎわした聖伝は特に低学年の支持を得て第一位に喰ひこんであります。自分のオーバーをひつばつて四五名の他の生徒のオーバーが、そのために落ちてゐるのまゝにしていく生徒が多いのです。生徒とぶつかつてなんにもいいわけの言葉はいわない生徒も多いのです。スポーツ例えばテニスをやるとき、コートをやぶつてくれない生徒がおります。これ等のこと全部は利己主義のあらわれなのです。

できるだけ早く、このような利己主義をすてしまつて、深い深いまた愉快な、親切な雰囲気をつくり上げてゆきましょう。本校の生徒たちが皆兄弟のように愛しあつて、親切な言葉を使つたり、

のあつぱれであります。

第三位には洛星として、非常に重要な行事であつた記念祭が、一週間勉強がめけた楽しさか、各学生平均的な票を得て第三位に、又高校発足が予想にたがわず入賞する

温い態度をとつたり、勉強や仕事に相互に助けあつたりするようになつてほしいと思ひます。成績のよい生徒が他の生徒にわからない点を説明したり、どんなことに於ても困つてゐる友達を援助しあつたりしてほしいと思ひます。而してこの愛の精神、親切な気持ちが更に學校以外の人達にまで及んでゆくようになつてほしいものだと思ひます。

これから洛星に次の三番目の特徴をつけ加えるように努力しましょう。

1. 高度の学業。
2. 正しい訓育。
3. 暖い親切な雰囲気。

校内での十大ニュースとい  
る。高校生からは、わずか四票と  
いう少なさはちと以外。落選の殆  
どを往く者としての白鷺がほし  
い。

と、これまで学校を単位とした  
ニュースが上位をしめているのに  
対して、佐藤先生が高校生の全面  
的支持のもとに、第五位に喰下

いたところ、誰も気づかなかつた  
ので一回調査をなでおろすしだい。  
なにがよもあれ、楽しかつたこ  
の一年、夢のようにすぎたこの一  
年、そしてあとわずかではあるが  
平和にすこして、十大ニュースに  
入るような悲しいニュースを押し  
て、十大ニュースにせぬよう祈  
り、さらにこの十大ニュースを土  
台にして新しい学年の再出発を。

- 1、ホワイト神父様帰国
- 2、京都市私立中学對抗駅伝に第二位
- 3、ヴァイアートル学園第一回記念祭
- 4、洛星高校発足
- 5、佐藤先生ノートルダム女学院へも講義
- 6、サツカ一校内大会開く
- 7、クラブ活動活潑になる
- 8、富永先生長女御誕生
- 9、高松宮杯第七回弁論大会に小林君出場
- 10、高校夏の制服にネクタイ決る

文 学

川端康成集  
石坂洋次郎集  
死  
赤毛のアン  
フランダーズの犬  
秘密の花園  
辛辛な王子  
母への手紙  
アンの青春

に行かれる

18 28 29 34 53 65 76 111 139 421

図書館ニュース

歴史地理  
日本の発掘  
わが国土(上)  
人文物理原理(上)(下)

## 社会科学

幼児と精薄児の絵が

自然科学

科学の学校（第一、二、三  
学年）  
物理学練習（上、中、下）  
ギリシャ人の科学（上、下）  
死の灰  
科学史

物理学

物理学  
科学论文集  
力学演習  
新制物理学本論(上、下)  
物理学概論  
物理学

## 文学

川端康成集  
石坂洋次郎集  
死  
赤毛のアン  
フランダーズの犬  
秘密の花園  
辛辛な王子



# 積極性が足らぬ

## もつとファイトを持て

今度本紙では、初めての試みとして座談会を開くことにした。中学生から一人、高校生から二人、高校一年生から二人、それにフェイス神父様と土川先生の合計七名が集まっていただき、本校の生徒等がこれの問題について、各人の抱えている意見を自由に発言していただいた。

司会 第四号の部屋に新任の先生へアンケートが送られていたが、その中で洛星の生徒は積極性が足りないという意見がかなり多かった。どうだろうか、大原 一部ではあるが、全体的にはまだ積極性が不足しているように思われる。

土川 積極性が足りないという意見が、やってくるやってくるが、それはいい。積極性が足りないという意見が、やってくるやってくるが、それはいい。積極性が足りないという意見が、やってくるやってくるが、それはいい。

### 出席者

フェイス神父 高田 久 中三 大原 謙一 中二 岡田 信一 司会 本紙編集部 杉本 良夫



洛星あれこれ

### 座談会

(写真) 左から土川先生、山元、大原、フェイス神父、岡田、奥田、高田の諸君

## 提示 朗らかな生活

ヨハネ・ブイスイス

あなたが若い少年でいたいならば、まず最初に、ゆかいになる。本気で楽しむ、大決心で努力する。本気で楽しむ、大決心で努力する。本気で楽しむ、大決心で努力する。



## ホームルームの必要性

高校一年 高島 章

高校に入学してから毎日見るホームルームが出来なくなつた。ホームルームが出来なくなつた。ホームルームが出来なくなつた。

### クラブ活動

高田 最近クラブ活動が盛んになり、各クラブが活躍している。各クラブが活躍している。各クラブが活躍している。

### 脱出

同 大枝 混迷から脱出しよう。混迷から脱出しよう。混迷から脱出しよう。

### 各学年の特色

土川 各学年にはそれぞれの特徴がある。各学年にはそれぞれの特徴がある。各学年にはそれぞれの特徴がある。

### 原子力展覧会

近頃校内ラゲビ大会 高校

今日の社会から見れば、必要であるが、人間は人間である。必要であるが、人間は人間である。必要であるが、人間は人間である。







府下私立中高校駅傳  
洛星A二位に入賞

訂正

洛星新聞第十四号の三面のトップ見出しは「1時間25分29秒」(新)樹立して、右訂正致しますと共に謹んでお詫び致します。

洛星新聞編集部

市川・山田勝之ー時間31分33秒  
⑦阿部健一ー時間53分33秒  
⑧一靈園ー時間40分20秒

と主将格山田勝之の快走は不慣れを破りながら、惜しくも二位ではあったが、大会新記録で期待にむくいてくれた。なかでも伊ヶ崎

高校の部

①大谷A 1無償16分24秒 ②平  
安A 時間17分2秒 ③洛星川  
加賀・豊嶋・村上・中柳・  
増田) 1時間32分11秒

【区間優勝者】 中学の部  
▼一区(五・四キロ) 堀口(平安)  
▲二区(四・四キロ)  
▲二区(四・四キロ)  
下村(同志社) 19分20秒1大会  
新三区(四・七キロ) 吉田(立  
命) 14分10秒 ▼四区(四・  
五キロ) 伊ヶ崎安孝(洛星A)  
16分50秒1大会新 ▼五区(三  
四・二キロ) 山田勝義(洛星  
A) 18分3秒1大会新

【本校記錄】

中學の部

▼二区②武田好文(A) 21分

39秒④村岸浩一(B) 24分42秒

▼二区③松村茂之(A) 14分

秒⑥水渡謙一(B) 14分53秒

▼三区③関片勝彦(A) 14分

53秒⑥市川満(B) 15分57秒

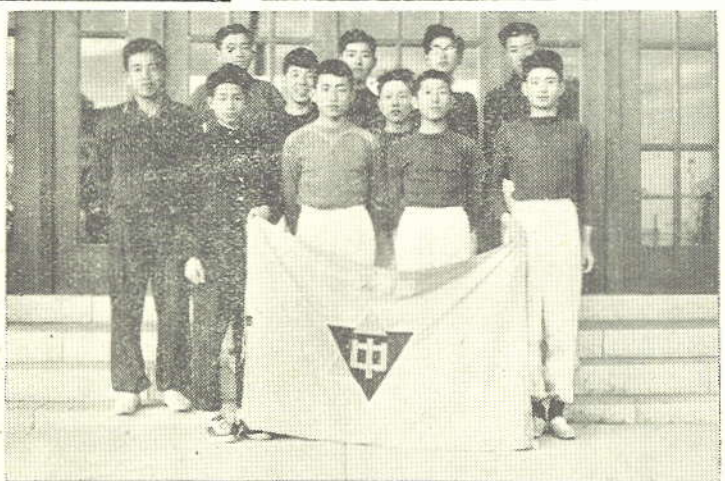
▼四区 ①伊ヶ崎安孝(山山西) 18分3秒

英隆(B)

①山田勝義 ②山田

中學の部

①平安A 1時間24分31秒1大会  
新②洛星A 武田・松村・間  
片・伊々崎・山田勝義



私学駅伝に活躍した洛星中学A・Bチーム

3B全勝優勝  
二位3 二位2 CA

ナに勝敗を決するキーポイント、四区伊ヶ崎、アン  
の最髙タイムも目前  
ら慥しくも二位に比  
として残念なこと  
因は初出場でトビイ  
不足に精神的な動揺  
に出しきれなかつた  
、第四区関門（西大  
安・立命Aと入つ  
が相手の力を調中で  
スパートのスキをう  
トツブスピードで立  
命A続いて花園高を抜きさき三百  
米までとらえ、アンカーの山田勝  
義がこれ又大会新の力走、二百米  
まで追いつめ前年度の覇者立命A  
を降して二位をかちえたことは  
むしろ平安Aにまさき戦戦といえ  
る。要するに、ここ一発というた  
ころで持駒不足の感があつた。  
又Bチームにあつて一人、剣を  
吐き洛星高を抜きながら本大会に  
第五区間を二位のタイムで山田勝  
之の健闘はたたえられてよい。彼  
は奇合患患症になつていたようだ  
が、これで自信をつけることな

う。なお高校チームは一年という無理から出馬したがやはりひらきが余りに大きく、十三位にとどまる低調さではあったが、然し練習如何によつては来春に期待がもてるまゝまつたチームであらう。

とにかく多大の収穫を与えてくれたこと、又その隣に中学チームには川島源先生が、高校チームには宮地先生が、それぞれ伴者として最後迄援助して下さいたことに感謝したい。

23日  
2B 4 (3100) 3A  
24日  
3B 3 (2110) 3C  
本命3Bに対抗3Cの好顔合せ  
スピーディーな試合は見た気が  
あつた。

取竹のばく進を続ける3Cが此  
日の最も前半12分中村からのセンタ  
ーリングをGK逸見がパンチで防  
ぐところをCH大原がブツシュレ  
てまず先取点をあげた。

後半に入つても3Cは風上を利

27日  
3B 2 (0100) 2B  
27日  
2A 2 (1110) 3A

たが左へはすれてしまった。この  
刃が試合の山で、3日は動きがに  
ぶくなつたが22分再度ベナルティ  
1を、24分にはセンターからのボ  
ールがLW宮川に渡りドリブルシ  
ュートで一点を加えどうにか形を  
つけた劣戦は一瞬を延ばす。

28日

2	A	3	1	1	1
1	0	1	1	1	1
1	0	1	1	1	1
0	0	1	1	1	1
		2			3
		C			C

二年にあつて氣を吐く2Aは上  
位進出をねらひ、此の日も3Cを  
相手にほぼ互角に試合を進めた。

て精神的に地位に立つたものの、  
分、2Aも同様にベナルティを  
得て後半に入った。2分、3Cの  
ゴール前の混戦からR・水渡が膝  
引に突込んでゴール決めた。然  
3Cも3分再度ベナルティを注  
めて延長戦に持ちこんだものの、  
そうは共に先取点をあせり過ぎ  
粗雑なパスが多く、折角のチャ  
も生かし得ず後半2Aは得意の脚  
かいパスでバックスを翻り、伊  
崎から通ったパスをL・小西がタ  
ツシユしてゴールの正面上に決  
めたは見事であった。

優秀選手に中村など十七名

中学校のクラス対抗サッカー大会は一月十一日を皮切りに連日連戦場で熱戦を繰りひろげたが、大と共にな一段と高いものをもつ三年B組が五試合に全勝して完全優勝を遂げた。理事長杯を奪得、二位には三年生を隔目に盛々と二年A組が入賞、以上三年O組、二年B組がこれに隔年数日にわたる熱戦の幕を閉じた。

決め、その差一点と迫つた。

ほぼ互角の実力ではあるがバツクスの守りを固めOHがよくFWを助けて貴重な一点を守り切った前半21分に3Aのハーフ線を突

3C 3 12 11 2 2B

ずのコンディションだった。体力が衰に筋の入った3Bが2人を寄せつけず圧倒し、栄冠を奪得した。はじめから激しい動きに2Aを圧倒、ほとんどのリプレイは2Aの

2B 1 (100) 0 3A  
 1月20日  
 ◆HB沼 (3C) 久井(3C)  
 小谷(2B) 平田(2C)  
 ◆GK黄瀬(2A) 市川(3A)  
 ◆FB野口(3B) 米谷(2A)  
 吉野(3A)

◆FW 山田 彰 (3B) 大橋 (3B)  
中村 哲 (3B) 宮 川 (3B)  
伊ヶ崎 (2A) 小 西 (2A)  
水 渡 (2A) 森 勝 (2B)

24 日

30 は画ウイングのシートに  
決め手となるものがなければどう  
にもならない。

25 日

3A 1 (10 10 0) 2C

に言  
はれ  
た。それ  
が来る  
ボールを  
曲

の目のリードオフマンOH沼がよく突込んでゴールを決めとどめをさした。後半はスケールの一まわり大きく、球によく食いがつて善戦。3Aは前が立たなかつた。

28日

3B 3(2100)0 20

14分R・B入井の直後に端を踏してエキサイトしたゲームとなつたうえ、23分、後半2分CH陳田が2ゴールをあげて勝因をもたした。

2Bもまた前半18分にR・I中村が一点をかえし立ち直るかに見え後半はじめも一方的に押し気味で

ルを巻き上げて走り込んだ。前走りは両チームとも固くなり暴走しなかりに変化の少ない試合だったことが20分。C山田勝義の鋭い突込みで決めた一音が気分の田代しみたようである。後半3Bは猛攻勢を加えて、3分、LW宮川、5分の山田勝義、8分、L山根と連続ヒットを打ち、試合は2-0で山田

陣の好取組であった。  
後半19分突込みの鋭い3BのF  
W陣がゴール前の混戦から球をな  
つかけて、CF山田勝義が右コー

$\begin{array}{c} 3 \\ C \end{array} \quad \begin{array}{c} 21 \\ B \end{array} \quad \begin{array}{c} 2 \\ A \end{array} \quad \begin{array}{c} 21 \\ B \end{array}$

$\begin{array}{c} 5 \\ 1310 \\ 1111 \\ 0011 \\ 1 \end{array} \quad \begin{array}{c} 3 \\ 0201 \\ 0011 \\ 1 \end{array}$

$\begin{array}{c} 2 \\ C \end{array} \quad \begin{array}{c} 2 \\ B \end{array}$

$$\begin{array}{c} \frac{2}{A} \\ 26 \\ \hline \frac{2}{11} \\ \frac{2}{00} \\ 0 \\ \frac{2}{C} \end{array} \quad \begin{array}{c} \frac{3}{B} \\ 25 \\ \hline \frac{1}{0010} \\ \frac{1}{0010} \\ 1 \\ \frac{2}{A} \end{array} \quad \begin{array}{c} \frac{2}{B} \\ 25 \\ \hline \frac{2}{20} \\ \frac{1}{10} \\ 1 \\ \frac{2}{C} \end{array}$$

優勝候補と目される3Bに対してこのところ不調を重ねている2Oにとつては余りにも条件が悪かつた。然し2Oも前半23分ベナルテイの先取点を取られただけでよく食い止めた。

後半16分2OのO戸川勝の強烈なロングシエートが決るかに見えた。

3 B 4 (3110) 0 2 A  
 3 B, 2 A 共、同率の爲再試合  
 を行つた。この日は濃曇りグラッ  
 ン。

も後半にはロングキックの応酬からチャンスをつかんだがゴール前でFWラインが振舞う気合にも負けていた。2Aも球に食いつかるねばりと、闘志に決勝まで勝ち進んで来たものの、3Bの個人技と試合運びの洗練さに全く歯が立たなかった。

二乃の中  
 実力は伯仲しており優秀なつづ  
 句に初めて  
 行われる予  
 定の洛星高  
 校三クラス  
 中川、豊嶋、高橋を走らせると矢  
 対抗ラグビ  
 込みが強いだけに、うるさいチー

Wのチームで広瀬、石井を中心にくめば他より盛れており、バックスでは三森、林、野村、亀田と同じみではあるが、足を生かすチャンスはある。

矢張りA1、B1、C1には強豪が揃っている。

昨年の秋に近畿大会京都予選に臨んでも一回戦で3-0と双ヶ丘中に敗れたが、その選手がC1とA1ではぼろぼろいるだけに

いるようだ。  
A1は大会唯一の好守備をみせるが、K藤井を中心にしたチームであるが、シニートに今一步の感があり、藤井のみに頼らずもつと積極的にシニートするドキヨウが必

なかつたのではなく後半の立上りに3日のF.B陣をおひやかし、再三ゴール前をおそつたが、徹底的なシュートが打てずに敗れたのは惜しまれる。

全体に球のパウンドとタイミングが合わず不慣れさが目立つたが、


てようやく形だけはクロスバーが  
設置され開導を待つている。  
何れも領土不足の感があり、や  
や動きに精彩を欠くきらいがある  
が、日に日に動きを体得しつつあ  
り、初試みであるだけに面白いつ  
合になりそう。注目を浴びている

一A、H-BのF<sub>W</sub>力は接近して  
おり、H-AのF<sub>W</sub>では大前、谷  
口、津田、中田光とバックスでは  
西谷、安岡の好タツチには笠原が  
あり、T-Bの津田、安川、山田展  
寺田と粒ぞろい期待が出来る。  
H-BではバックスよりむしろF

合いとなるだろう。(K記)

去る二月三日より中ハ  
ンドボール一  
二部合併リ  
ーグの幕を開い

た。今までの試合経過からみると



巧者のチームだ。とくにC1、F  
Wにはジャンプシュートを武器と  
する高木、岡野に強引な田中、湯  
川と粒がそろってはいるが、力に  
頼り過ぎる欠点があり、ペースを  
割られると案外もういとはある  
難を云えばチームワークに欠けて

トを放す。野のBは一はよくボールをキープ、チャンスをつくらうき味のあるチームだけに體でもシナト出来る技術が欲しい。どちらにしても強豪同士の星つぶしが順接優勝をかける争奪戦となるのは必ずとみられる。(K記)



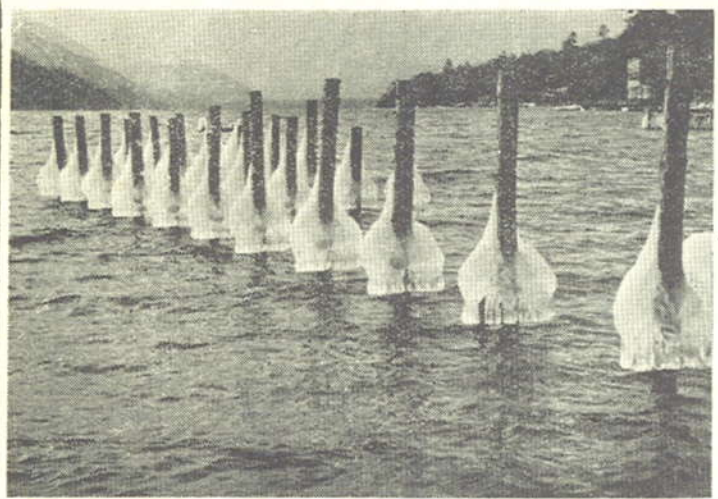
ストーヴをかこんで

## 高校生への苦言

宮地宏

もうまた入學が試験始まつた君達がワイアートル學園の第一回生としてスタートしてからもう四年になる。小学生の幼きをそのまま持ちこんで来たよな當時の君達の写真を持ち出して眺めると、矢張り極めて月並に「變つたな」と思う。君達だつて今の自分達と見較べて「變つた」と思うだ

誰がはつきりすればする程はげしくなる。前に書つたように、自分というものの意識がはつきりすることは他人というものの意識がはつきりすることだから、抵がらうとする自分は、同じように抵がらうとする別の自分（他人）が邪魔者と感じられそれと衝突する場合が多くなる。しかも、自分という



塔

謂源をさし  
へと続く道

☆春

〇…木枯が情  
の冷気が身に  
しかし時折、  
間から春を感  
つばみをむす  
ぐ。褐色の板  
がて花開く春  
芽がある。

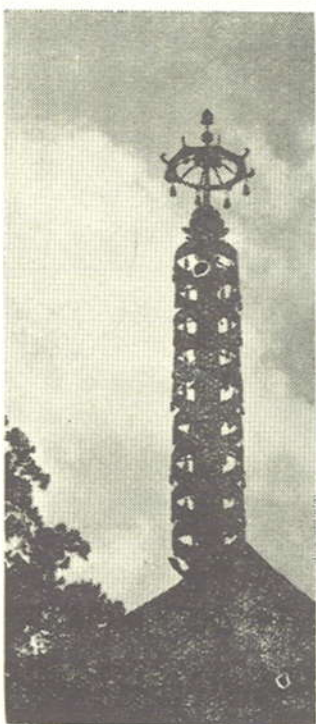
〇…冬のように  
い生活の後に  
た、明るい春  
湖の水もとけ  
静かにしのび

(写真は高校  
写真部員撮影)

室生の里に立つ  
塔のすがた

高1B  
宮崎瑞夫

と曲り曲つて奥へ奥  
その道をたどつて行  
浅く  
校をふるわせ、霜柱  
あふめるきよこの頃  
たれたこめた厚い雲の  
わたせる陽光がかたく  
だ白梅にふりそそ  
しい冬の野にも、や  
にそなえて淡い緑の  
につめた、さみし  
は、必ず希望に満ち  
の生活があるはずだ  
はじめた。もう春は  
よつていようだ。  
年〇組の外村陽二  
くと塾生の里に至る。塾生の里、  
なんというよい名であらう。塾生  
室生、機織せは縫製すほど細しめ  
を認めるではないか。  
女人喬野と呼ばれる室生寺は、  
その名が示す如くに全てが女性固  
である。室生の里で感じるいい  
れぬあたなさ、やわらかみ、そ  
れ等が寺全体に満ちている。その  
中で我々が最も関心を寄せるもの  
に五重の塔がある。  
金堂のわきをぬけて、石段をカ  
ギの字に折れると前方に杉の緑に  
囲まれてすらりと立つている塔が  
目に入る。これが室生寺の七重の  
塔である。塔の上を見るとまっ  
や、と思ふことがある、水煙がな  
いのである。その代り形の整つた  
相輪の上には、宝瓶形をおき、八  
角の宝蓋形でおつて、普通の塔  
にみられる水煙の代りにしてい



文苑

んで  
苦言——  
地 宏

ものがはつきり意識されるという  
のは、何故自分はこのように自分  
を扱へようとするかという理由が  
一応すじみちをたててわかる。こ  
れを反省するというのだが——こ  
ともあるから、衝突は段々意味が重大  
になってくるわけだ。時には、あ  
くまで自分を扱へなければと思い  
何故自分の欲がこうとする理由を  
理解せずに屈服するのかと腹を立  
てる。自分と他人の關係は、一つ  
の緊張關係（抵抗關係）と言つても  
よいだろう。であることが身にし  
みて感じられるようになる。君達

が時々怒りになりたくなつて、山  
に出掛けたりするようになったの  
は、此の緊張關係から逃れて、何  
の妨げもなく、思う存分自分を扱  
げられるからじゃないだろうか。  
自分を扱げること、これは  
決して悪いことも何でもない。  
自分に与えられた幾多の能力（そ  
の大部分は未だ可能能として君達  
の中に眠つてゐる）それを目覚め  
させ、充分に現実化し、外に向つ  
て展開させることに君達は全力を  
注いでよい。それなのに何故、君  
達は抵抗ばかり生じるのだから。  
そしてわけのわからぬ焦燥を、孤  
独への憤れを感じるのだから。そ  
れは君達の、自分を扱へようとし  
る働きそのものに問題があるん  
じゃないか。前に、僕は自分と  
いうものの意識を喪失せば他人と  
いうものの意識だと言つた。その  
他人というものの意識は君達には

## ☆春浅く

不安定な感じがしないでもないがそれは、この樹根のゆるやかな間、深い軒出、あるいはこの構えとりまいて、まっすぐにそそえている杉の大木、それらがよこの不安定な静けさを訂正している。

この場は藝術史上「劇職」とばれる時期すなわち平安時代の中期に作られたものである。金体作りは極めて無い、しかし粗雑のでもない。おおまかな作りとも言えば最も適当であろうか。

それによく証明しているのがその材木である。まず使っているタ

僕等の環境は甘すぎる

二・A 水渡嘉一

二・A 水渡嘉一

僕は、この冬休みに色々な事を考えた。

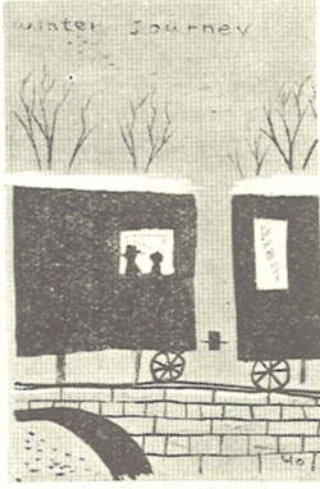
その一つは、ある日僕が、前にいた学校のクラスの新年会があるというので行つてみた。その時ドツチボールで普通僕等がする手で打つテニスをした時だつた。その時は運動場に僕の他に誰もいなかった。ので、大きいのをしよう

といつた。ところが友だちが聞いたのは僕のしている何分のかの大きさに過ぎなかつたのである。僕は思つた。無理もない事だ。この人たちが常に行っているのはこれ位の大きさなのだから。何故ならば、運動場が狭く、人数の多い中で遊んでいるこの人たちと、こここの学校の数倍もある運動場で、何

僕はこう思う

二一〇  
佟  
眞  
幸

僕は洛風中学校へ入学して以来  
学校の噂し、即ち校風に、残念だ  
と思うことが一つある。それは  
退校に於ては、上級学校（大学）  
へ入学する事を大体の人が自指し  
ている。だから大體の先生方は退  
校の事を思つて（？）度々宿題を  
出される。又一應諸君はそれを一  
心によつて来る。宿題やテスト  
があると、みんな勉強に追い廻  
される。そうするとスポーツや部  
味は、勉強を少々休まなくては出  
来ない、そこへ授業時間が多いと  
きているから、當り前に勉強して  
いたら放課後の少しの時間と、日  
曜日ぐらゐしか藥に出来ない。「そ  
れは對の時間の使い方が悪いの  
だ」と言われるかも知れないが、  
「あれをしろ、これを知ろ」と言  
つたつて、科目もたくさんあるの  
だからこちらも弱つてしまふ。S  
先生もいつておられたが、それは



冬の旅・大藏先生画

に思ふ、それは創痕、自分のさき振  
がればよいということだ、人間の  
一人々々が自分を持ち、しかも逆  
け難い自他の關係に置かれてい  
る以上は、構造的に、それぞれ切  
断せずつづ内に深まる努力を続け  
ねばならない。その時、人は自他  
の關係が圓利のある幸福關係とな  
っている事がわかるだろう。これ  
は何も苦達だけの事じやない。一  
生の圓の模等の課題だ。

（一九五六・二・二）

編集室

▲立春を過ぎてもう十日たつた。  
時は正に早春である。「春立つと天の日渡るみんなみの国はるかなる空より来らし」早春の歌長歌節の作である。春は南の國から来るという理窟ではないんだそう思えてしやうがないんだ。試みに南の空を見るがよい。飛行機の上つている生駒の山が見えてゐる。金剛萬城が見えてゐる。その向う吉野群山の彼方には太平洋が開けているんだ、そしてそこには黒潮が、黒潮が流れてゐるではないか。

▲早春の歌、黒潮の勢めきに思えて本号を編みました。われわれのよき父としてのナドウ神父様、ブイスイ神父様の教訓、よき兄としての宮地宏先生の談話、ともに無上の勸物として一人一人の心の中に温めてほしいものである。

▲去年は虫の雪で遂に花を解けず幹を切られてしまつた東門の臨の桜の木。今通つたらその根本から無数のひこばえが出ていた生命あるものの尊さ。ひこばえの枝には多くの葉芽がついてゐた。もうしばらくしたらそこから柔い春の若葉がでるのであろう。そしてひよつとしたらたとえ数輪の花をもつてくれたらと、そんなことをひそかに願いつつ今校正の筆をとつている。